

分野	森林を育成する治山		事業番号	34	事業名	水源地域等保安林整備	
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	いりやまべ 入山辺		工 期 (年度)	当 初	H14 ~ H18
当回事業費	341,570 千円		費 用 対 果 効 果	当初	-	実 績	H14 ~ H18
最終事業費	286,935 千円		評価時	5.19	完了後経過年数	5年	
事業目的	治山工事(谷止工等)と森林整備(間伐)を複合的に行うことで、水源涵養機能の向上や土砂の流出を抑止する。						
事業等経過	当初計画内容	本数調整伐210.44ha、溪間工(床固工(木製)11個、床固工(鋼製棒)3個、谷止工(鋼製)2個、谷止工(コンクリート)2個)、山腹工0.42ha、作業用施設(作業道補修3265m)					
	最終事業内容	本数調整伐180.74ha、溪間工(床固工(木製)11個、床固工(鋼製棒)3個、谷止工(鋼製)2個、谷止工(コンクリート)2個)、山腹工0.40ha、作業用施設(作業道補修3265m)					
	変更理由	林況調査・森林周囲測量の結果、本数調整伐施工数量が約30ha減となった。					
評価内容							ランク
事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)							B
当事業完了後に土石流は発生しておらず、また林地の復旧が進んでおり、事業の目的を達成している。							
事業実施に伴う自然環境の変化(A:環境がよくなった B:影響なし C:影響あり D:影響が大きい)							A
事業地に路網を入れ過密化したカラマツ林を間伐したことにより、下層植生の生育が促され、単層林が針広混交林へと遷移しつつある。							
施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切にされている C:やや不十分 D:適切にされていない)							B
長野県が必要に応じ点検・管理を行っている。							
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)							B
事業の必要性、重要性について、約8割の方から評価されている。							
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要)							A
当事業としての改善措置の必要性はない。							
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している -:特になし)							-
特になし。							
部 意 見	<p>荒廃溪流の安定を図るとともに、森林整備を実施したことにより、水源林の機能の向上と下流地域の安全・安心の確保が図られた。</p>			政 策 課 評 価 見	<p>荒廃地の復旧や森林整備により、水土保持機能の向上が図られ、事業の目的を達成している。</p>		
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等							
<p>今後も、森林の荒廃状況や災害による山腹崩壊等に応じた対策事業を適切に実施する。特に施工後の森林の保育・構造物の維持管理において、異変等が生じたときの情報収集・伝達手段について、地域との協働を図る必要がある。そのため、事業実行段階において地域住民にその目的や方法を知ってもらい情報を共有する等、連携を密にしていく必要がある。</p>							

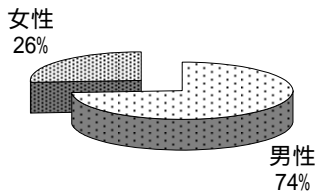
アンケートの方法及び対象

・入山辺地区(大仏・一の海町会、大和合・牛立町会、三城町会)の住民99人に対し、アンケートを実施した。

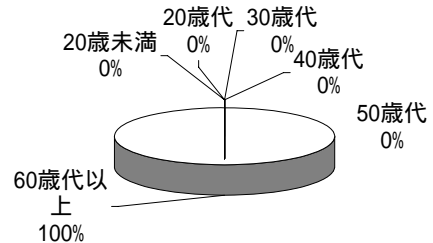
配布数	99 戸
回収数	23
回収率	23 % (男性 74% 女性 26%)

アンケート結果

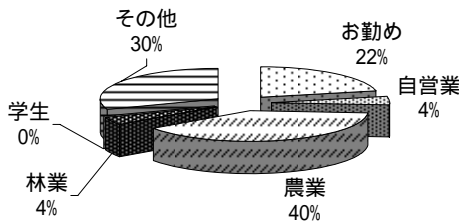
問1 性別



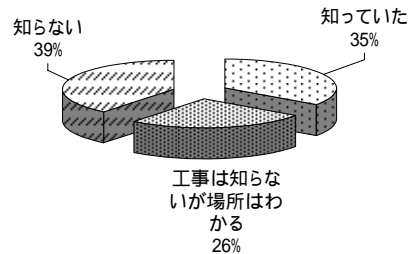
問2 年齢



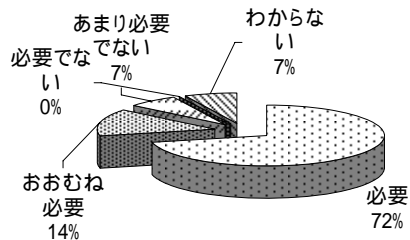
問3 職業別



問4 事業の認知度について



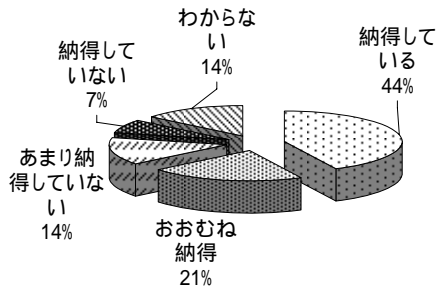
問5-1 事業の必要性について



問5-2 主な理由

- ・大雨が降ると石がゴロゴロ流れた。
- ・工事をしなければ道を通る時にピクピクして通らなくてはならない場所もあるから。
- ・災害防止、水源、治山に必要なこと。
- ・牛立町会より上三城橋より上(六郎沢)林道の間が崩れています。早く直して下さい。
- ・大災害、大雨、土石流があれば、入山辺・下流松本市内が全滅だと思う。

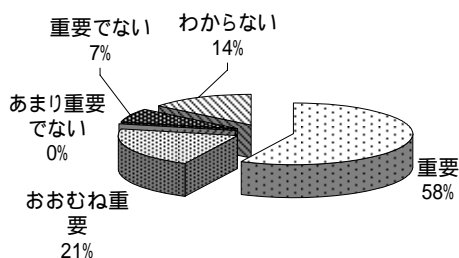
問6-1 事業への税金使用について



問6-2 主な理由

- ・奥の方が崩れてくると下の方まで崩れてくるかも
- ・近年は大雨がふえ工事が遅れると工事費も増すのではないかと思います。
- ・国民・市民のためだから、他に出せる所があれば良いが、ない。仕方ないと思う。

問7-1 地域社会にとっての重要性について

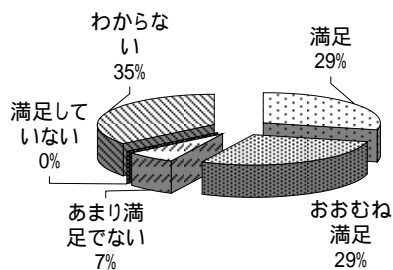


問7-2 主な理由

- ・土砂災害が少しでも軽減できるかも。
- ・今まで行なわれた事業後は今になって崩壊がわからなくなっている。
- ・急斜面で崩れやすい場所が多く下流の方まで被害があるのではないかと思います。
- ・災害防止だから。

アンケート結果

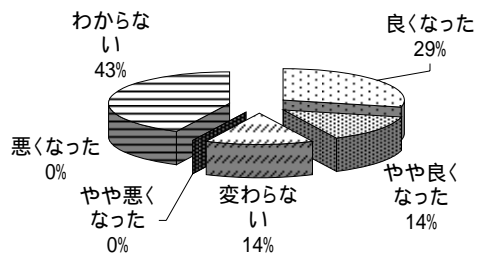
問 8 - 1 事業の完成結果について



問 8 - 2 主な理由

- ・手数がかかるとその成果はわかる。
- ・このような土木工事は金がかかるがやらなければ、やらなくて済むならそれにこしたことはないが

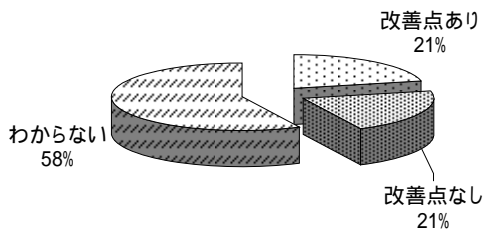
問 9 - 1 自然環境の変化について



問 9 - 2 主な理由

- ・今施工をしておく数十年後には元に戻る。
- ・川が荒れなくなった。
- ・一部しか見てないのでわからない。

問 10 - 1 工事の改善について



問 10 - 2 主な理由

- ・早いうちに行なったほうが良い。

問 11 その他ご意見・ご要望

- ・早めに荒廃地を整備して山林を守ってほしい。
- ・まず、道路を整備し道路の水はけを良くしてください。
- ・入山辺は災害の少ない地域と感じています。このような先を見越しての災害防止工事があってのことと思います。皆様のますますの御活躍をお願いします。
- ・近い所、見えている所ならわかるが、離れた山の中は何をやっているのか全然。車がよく通るなぁ...位です。
- ・入山辺は山林の多い場所。他の山林も(薄川南側)も実施して欲しい。
- ・住民に『工事がありますよ。』というお知らせをわかるようにお願いしたい。知らない人が大勢いる。ダンプが行くが何処に行くのかと言う人もたくさんいた。

施工前写真 (平成16年)



谷止工施工前(平成16年10月台風23号後)



森林整備施工前

施工後(現況)写真 (平成24年7月)



谷止工施工後



森林整備施工後